

## 国分寺市教育委員会議事録・第9号

会議の種類 第7回国分寺市教育委員会定例会  
会議の日時 令和3年7月20日(火) 午前9時30分  
会議の場所 国分寺市立教育センター 2階 203・204号室

### 会議の出席者

#### (教育委員会)

|          |         |
|----------|---------|
| 教育長      | 古屋 真 宏  |
| 教育長職務代理者 | 富 山 謙 一 |
| 委 員      | 大 木 桃 代 |
| 委 員      | 辻 重希子   |
| 委 員      | 藤 井 健 志 |

#### (説明員)

|              |         |
|--------------|---------|
| 教育部長         | 一ノ瀬 理   |
| 教育総務課長       | 廣 瀬 喜 朗 |
| 学務課長         | 日 高 久 善 |
| 学校指導課長       | 富 永 大 優 |
| 学校教育担当課長     | 大 島 伸 二 |
| 指導主事         | 野 村 宏 行 |
| 指導主事         | 渡 辺 大 輔 |
| 社会教育課長       | 柳 功 一   |
| ふるさと文化財課長    | 高 杉 強   |
| 公民館課長兼本多公民館長 | 本 多 美 子 |
| 図書館課長兼本多図書館長 | 櫻 井 明 徳 |
| 書 記          | 佐々木 理絵子 |
| 書 記          | 富 永 菜 月 |
| 書 記          | 山 口 徹   |

傍聴人 1人

**教育長** 梅雨明けとともに大変厳しい暑さが続く毎日です。本日も大変お忙しい中、お集まりいただきましてありがとうございます。

さて、本日、市内の小中学校は終業式を迎えることとなりました。今年度も4月から保護者、地域の皆様方の御協力を得ながら各学校ともに創意工夫をし、新型コロナウイルス感染症防止対策を行いながら子どもたちの学びについて前進してまいりました。

また、献身的に御指導いただきました校長先生をはじめ先生方には改めて感謝申し上げます。明日からいよいよ夏季休業日に入ります。まだ新型コロナウイルス感染症の感染拡大が続く毎日ではありますが、そのような中でも子どもたちには健康に気をつけて、実りある夏休みを過ごしてもらいたいと思っています。

市内小中学校においても水泳指導を継続して行い、夏季休業中もプールを開放する予定です。

体を鍛え、また元気に2学期に登校することを待ちたいと思いますので、よろしく願いいたします。

### 〔開会と署名委員の指名〕

午前9時30分、教育長は開会を宣言し、署名委員として2番藤井委員、3番富山教育長職務代理者を指名した。

### 〔前会議事録の承認〕

- ・令和3年5月27日開催の令和3年第5回国分寺市教育委員会定例会議事録第7-1号
- ・令和3年5月27日開催の令和3年第5回国分寺市教育委員会定例会議事録第7-2号

### 〔教育長等の報告〕

**教育長** 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会における学校連携観戦の参加の中止についての御報告です。

委員の皆様方にも御意見を頂戴し、御同意をいただき、このたび中止と判断しました。

慎重に検討を重ねてまいりましたが、東京都内の新型コロナウイルス感染症の感染者数が増加傾向にあります。さらに従来株よりも感染力が強い変異株の割合が増えており、感染リスクが高まっています。東京都教育委員会から示されました安全対策に基づく感染防止対策、また熱中症対策を準備することは大変困難な状況と踏まえ、全市立小中学校の参加中止を決定しました。

### 〔議事〕

#### 1 議案第41号 専決処分の承認について<教育長提出>

(議案の内容と説明)

令和3年議案第23号において、国分寺市コミュニティ・スクール協議会規則(平成25年教委規則第5号)第4条第1項の規定に基づき委員の任命の専決処分の承認を行ったもののうち、2名の氏名に誤りが判明し、早急に改める必要があったため、専決処分をしたものである。

**学校教育担当課長** 令和3年度コミュニティ・スクール協議会委員名簿を御覧ください。

氏名について、5番PTA副会長の「佐藤美春さん」を「佐藤美香さん」と誤って記載しておりました。また7番地域スポーツ団体代表の「松田和広さん」を「松田和弘さん」と誤って記載しておりました。

学校指導課では、7月14日に第七小学校副校長から第一報を受けた後、早急に氏名訂正に係る作業を行い、専決処分の手続を進めてまいりました。また第七小学校の校長にはこの件について厳重に注意するとともに、再発防止に努めるよう指導をしています。学校では学校だよりとコミュニティ・スクールだよりで、お詫びと訂正を行う予定であると報告を受けております。

(意見・質疑の要旨)

なし

(採決)

原案どおり承認(全員一致)

### 〔協議〕

なし

### 〔報告〕

#### 1 国分寺市特別支援教育推進委員会の進捗状況について

(事務局からの説明)

**学校教育担当課長** 国分寺市特別支援教育推進委員会の進捗状況について御報告します。

当初のスケジュールでは8月に御報告する予定でしたが、第2回を終え、今後の検討事項が明確になったため、今回の定例会で報告します。

資料を御覧ください。5月28日に実施した第1回は緊急事態宣言中の開催のため、リモートによる出席をされた委員の方もいらっしゃいました。

当日は委員の委嘱後、委員長の互選を行い、東京家政大学教授の半澤嘉博先生にお引き受けいただくこととなりました。

第1回の協議内容を御覧ください。次期計画の名称と期間を検討後、現計画の成果と課題を基に令和4年度以降の特別支援教育の充実に向けた検討事項を中心に話し合いを行いました。ここで確認をした検討事項が第2回、第3回、第4回に記載している検討事項1から3となります。

それぞれの回の大きなテーマは上位計画である第2次国分寺市教育ビジョンの取組の柱と併せて設定をしております。

次に6月24日の第2回には、検討事項1の「特別支援教育体制の充実について」にあるそれぞれの項目について協議をしております。

事前に資料を配布したことで、前日までに御意見等を書面でお出しくださる委員もおり、1つ1つの項目について様々な御意見をいただくことができました。

また、6月17日に行われた国分寺市障害者地域自立支援協議会において、本委員会の設置について御報告をした際に推進委員会への御意見をいただきましたので、事務局からその内容についても第2回で御紹介をしております。

今回は8月5日にc o c o b u n j i プラザ5階のリオンホールで開催を予定しております。次回も緊急事態宣言中の開催となるため、リモートも活用する予定です。

第5回まで終えた後に、11月の教育委員会定例会において計画案を提案する予定です。御報告は以上となります。

(意見・質疑の要旨)

**大木委員** 第3回で予定されております就学相談の充実について、「就学相談に関するシステムの見直し」がありますが、これは具体的にどのようなことをイメージされているのでしょうか。教育委員会の中だけでなく、他課との連携が必要になる内容だと思いましたが、具体的なイメージ等ありましたら、教えてください。

**学校教育担当課長** 「個別支援委員会の在り方」が話題になると考えています。

就学相談を受ける方が大変多くなっている現状を踏まえ、個別支援委員会をどのように運営していくのが鍵になると思います。

また、東京都から特別支援教室の運営ガイドラインが令和3年3月に示されました。その中で特別支援教室の入退室方法について、新たな方法が示されております。国分寺市も、そのガイドラインに沿って進めていく必要があります、その内容について御議論いただく予定です。

**大木委員** 就学相談の際には、保護者もいろいろな思いをお持ちだと思います。引き続き丁寧に関わっていただければと思います。

**富山教育長職務代理人** 第2回の検討事項1の中に「ICTの効果的な活用の推進」が載っております。御案内のとおり1人1台のタブレットが配布され、使える環境も整ってきている中で、有効な活用の展開が期待されると思いますが、もう少し詳しく教えてください。

**学校教育担当課長** 保護者から実際に特別支援が必要なお子さんについてICTの利用は効果的であると御意見をいただきました。どのようなアプリやソフトが必要になるのかを、ぜひ先進校の事例等も活用しながら情報共有していただきたいと御意見をいただいております。その内容がきちんと盛り込めるように考えていければと思っております。

**辻委員** 検討事項2についてですが、先ほど大木委員がおっしゃったとおり就学相談の充実について私も非常に重要だと思いました。保護者の要望と行政側の体制がうまくマッチせずにトラブルになるケースが多くあるように思いますので、ここを手厚くしていただければと思います。

同じ検討事項2の中で、「特別支援教育の理解啓発の充実」とあるのですが、この理解は、市民や教育を受ける側の理解ではなく、一番最後に「保護者や地域住民への理解啓発の推進」とあるので、その上の「障害者理解の取組の充実」や「副籍制度に関する理解啓発の推進」は、学校の現場にいる先生方に向けた項目でしょうか。

**学校教育担当課長** 「障害者理解の取組の充実」は、校内を想定しており、教職員の理解から始まり、それから児童・生徒の理解を行い、最終的には保護者、地域住民への理解啓発を進めることを想定しております。

**辻委員** 表の「保護者や地域住民への理解啓発の推進」と「就学相談の充実」をセットで進めていければよいと思います。もちろん校内での理解が大前提であって、よりよい就学相談もできると思いますので、ぜひともこの検討事項2を、次回活発に御議論いただければと思いました。

**学校教育担当課長** いただきました御意見について、私たちのイメージは特別支援教育がどういうものであるかを、1つ目の白丸では、理解啓発を進めていくというものだと思っておりましたが、辻委員がおっしゃるような就学相談の進め方や方法、理解啓発も十分にしていかなければならないと思います。その点について前半に盛り込むのか、または大きな

2つ目の項目で盛り込むのか、会議の中で検討していきたいと思います。

**教育長** 報告の中で、国分寺市障害者地域自立支援協議会の御意見もいただきましたとお話がありました。

幅広く意見集約するとよいと思うので、ほかにどのような団体から聞き取りをしたのか、簡単に御紹介していただけますか。

**学校教育担当課長** 国分寺市障害者地域自立支援協議会は、多くの団体が入っております。その中の1団体から当日御意見をいただきました。

特に特別支援学級の運営について、意見をいただいております。また、当初学校にアンケートをとっており、多くの保護者が御意見を持っているので、学校からの意見も反映している状況です。

今後、案ができ上がった後に市民への説明会も行う予定です。それからパブリックコメントも実施する予定ですので、より多くの方々に御意見をいただき、そのような機会も生かしていきたいと思います。何より、国分寺市特別支援教育推進委員会は公募の方も含め様々な視点から御意見をいただいておりますので、有意義に生かしていきたいと思います。

**教育長** 幅広い御意見をいただきながらこの推進計画を立てていき進めていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

#### 〔その他〕

なし

#### 〔閉会〕

午前9時47分、教育長は閉会を宣言した。

署名委員

2 番

藤井健志

3 番

喜山謙一

調製職員

廣瀬喜朗